

◇公園緑地整備事業費及び愛・地球博記念公園周辺道路対策費について

問1. 神戸

2022 年開業に向けてジブリパークの計画が進んでいくと思いますが、今回の補正予算案では、愛・地球博記念公園の駐車場確保や周辺道路の渋滞緩和に向けた検討を進めるため、9900 万円が計上されていますが、この予算についてお伺いしたいと思います。

予算に関する説明書の 33 ページ第 4 目公園費のうち、(1)単県事業 愛・地球博記念公園整備事業費 6900 万円について、先ほど、現在でも週末や連休などの繁忙期に駐車場が満車となることがあるという説明だったと思いますが、1 年間で何日くらい駐車場が満車となっているのでしょうか。

答1. (公園緑地課)

昨年度はうまいもの祭りなど、1年間で24日間満車となっていました。今年度も、昨年度とほぼ同じような駐車場の満車状況となっており、現状でも駐車場の増設が必要な状況であり、ジブリパークの開業を見据えると、駐車場の増強は必須であると考えます。

問2. 神戸

ジブリパークが開業されれば、多くの人が押し寄せ駐車場も現在のままでは、すぐにいっぱいになってしまうと予想されます。公園駐車場の確保が必要となると思いますが、具体的にどのような内容が検討されるのでしょうか。

答2. (公園緑地課)

測量は、現地の土地の形状や権利関係等について調査し、駐車場に適した候補地を選定します。配置計画等は、候補地における現況の道路から駐車場へのルートや出入りの位置、また、駐車スペースの区画線の配置等の検討を行っていきます。

問3. 神戸

2022年の秋にジブリパークの一部が開業すると聞いていますが、駐車場の整備についてはどのようなスケジュールで進めていくのでしょうか。

答3. (公園緑地課)

政策企画局において、現在ジブリパーク開業に伴う想定来場者数の推計作業を行っております。今年度はその推計作業と整合を図りながら、駐車場の位置を選定していく予定です。駐車場に必要となる詳細設計や用地の買収を進め、ジブリパークのオープンする2022年秋を目標に、駐車場の増強を図ってまいります。

問4. 神戸

次に周辺道路の渋滞緩和についてお聞きします。

予算に関する説明書の31～32ページの第2項第2目、道路橋りょう新設改良費のうち、(2)愛・地球博記念公園周辺道路対策費 3000万円についての具体的な内容についてお聞かせください。

答4. (道路建設課)

公園駐車場の出入口となっている公園北口の交差点をはじめ3箇所の交差点では、集客力のあるイベントが開催される連休など繁忙期において、公園を利用する車の集中などにより渋滞が発生しています。現状及び今後の交通見通しを踏まえて、工事発注に向けた測量・設計を進めていく予定です。

問5. 神戸

公園周辺道路では、連休等の繁忙期に渋滞が発生しているとのことですが現状の渋滞とはどのようなもののでしょうか。

答5. (道路建設課)

名古屋方面からは、県道力石名古屋線の前熊東交差点や公園北口交差点で渋滞を確認しています。愛・地球博記念公園からについても、県道力石名古屋線の長久手IC付近を先頭にした渋滞や田糶名古屋線での渋滞を確認

しているところです。

問 6. 神戸

ジブリパーク開業は 2022 年で、もうあと 3 年しかないという限られた時間の中で、渋滞緩和に向けてどのような対策を進めていくのかお尋ねします。

答6. (道路建設課)

現時点では、既存の道路構造を活用することを基本に、対策を検討してまいります。右折車線や左折車線の延伸、交差点につながる車線の追加などを計画していますが、今後の調査設計の中で、必要な対策に取り組んでいく予定です。

要望: 神戸

ジブリパーク開業は多くの人々が期待を持って待っていると思います。日本国民だけでなく世界中の人たちが訪れると予想され、特に子どもたちを含む家族連れも多いことでしょう。せっかく楽しみに出かけてきたのに、渋滞でなかなか目的地まで到達できない、やっと到達できても遊ぶ時間がなくなってしまう、となると、ジブリパークを思う存分楽しむことが出来ず、残念な思いで帰ることになってしまいます。

さらに渋滞が連休だけでなく平日も続くとなると、周辺住民の方々の生活に支障をきたすことになると思います。多くの皆様の期待を背負ってのせっかくのジブリパーク開業が歓迎されないような結果になってしまっては残念ですので、今からしっかり関係部局と連携して、駐車場や周辺道路の課題を検討し、円滑な交通アクセスを確保して頂くようお願いして質問を終わります。